

第 8 回 中央区自治協議会 会議概要（速報含む）

開催日時	平成 28 年 11 月 25 日（金曜）午後 3 時 00 分から午後 4 時 50 分まで
会 場	市役所本館 6 階 講堂
出席者	<p>委員</p> <p>藤田委員, 田村(幸)委員, 外内委員, 浅野委員, 高橋委員, 加藤委員, 渡部委員, 本間(之)委員, 青木委員, 廣瀬委員, 川崎委員, 伊藤委員, 竹田委員, 大堀委員, 関谷委員, 三條委員, 菊地委員, 佐藤委員, 水品委員, 豊嶋委員, 本間(健)委員, 津吉委員, 津田委員, 長谷川委員, 南雲委員, 李委員, 小島委員, 井上委員, 岩田委員, 田村(勝)委員</p> <p>出席 30 名</p> <p>欠席 8 名(清水委員, 中村委員, 志賀委員, 本間(伸)委員, 杉原委員, 肥田野委員, 渡辺委員, 大坂委員)</p> <p>事務局</p> <p>【新潟市役所】都市計画課長</p> <p>【中央区役所】区長, 副区長, 区民生活課長, 健康福祉課長, 保護課長, 建設課長補佐, 東出張所長, 南出張所長, 地域課長, 地域課長補佐</p>
議 事	<p>1 開会</p> <p>○会議の成立について</p> <p>委員 38 名中 30 名出席のため, 規定により会議は成立</p> <p>2 議事（議長＝豊嶋会長）</p> <p>（1）中央区自治協議会委員の改選について（資料 議 1）</p> <p>○区自治協議会委員推薦会議 田村（勝）座長より, 委員推薦会議での次期委員構成（案）の協議・検討結果について説明がありました。</p> <p>委員総数は 38 名とし, 第 1 号委員は第 5 期と変わらず 23 名, 第 2 号委員は他区の状況や中央区で不足している分野を考慮し, 3 団体を追加して計 9 名, 第 3 号委員は第 5 期と変わらず 3 名, 第 4 号委員は第 2 号委員との調整もあり, 2 名減員の 2 名, 第 5 号委員については, 亀田郷土地改良区の鳥屋野出張所が江南区の本社ビルへ機能移転することから, 資格要件を満たさなくなるため, JA 新潟市からの 1 名とする旨説明がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員上限を左右する国勢調査の数値について質問があり, 速報値で中央区は 18 万 3, 386 人となっており, 上限は 38 人となる旨回答がありました。 ・区人口 10 万人を超える部分の委員数カウントについて, 現状の 1 万人に対して 1 人というものを 5,000 人対して 1 人とするよう提案があり, 条例改正を伴うことから次期改選には間に合わないが, 所管課に伝える旨回答がありました。 ・第 2 号委員を増員し, 第 4 号委員を減員する理由について質問があり, 委員

推薦会議において、公募委員である第 4 号委員の選考の難しさや応募状況、第 2 号委員における中央区の状況や他区との比較など検討した結果、最終的に第 4 号委員を 2 名に決定した旨説明がありました。

- ・他区の第 2 号委員の比率について質問があり、現状では北区は 40%、東区は 26.7%、江南区は 23.3%、秋葉区は 30%、南区は 33.3%、西区は 30.6%、西蒲区は 20%である旨回答がありました。
 - ・第 2 号委員での選出団体では単年度制の団体もあることから、その点を考慮して判断してもらいたい旨意見がありました。
- 中央区自治協議会の次期委員構成（案）について、承認されました。

（2）特色ある区づくり予算に係る事業について（資料 議 2）

- 事務局より、事業費を含めた平成 29 年度の特色ある区づくり事業（案）が示され、区ビジョン基本方針の体系別に沿って 11 事業の説明がありました。
- ・総額 2,800 万円の事業が有効、かつ、結果が伴うものとなるよう意見がありました。

3 報告

（1）中央区 区ビジョンまちづくり計画の取組状況について（資料 報1）

- 事務局より、区ビジョンまちづくり計画における第一次実施計画の全体進捗状況及び一部未達成事業について説明がありました。
- 事業通番2番「がんばるまちなか支援事業」は、空き家活用への支援採択数が目標に達しなかったこと、6番「都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業」は、一部事業用地の取得が難航したこと、12番「新潟駅周辺地区の整備」は、目標進捗率は良好だがわずかに目標を達成できなかったこと、26番「マンガ・アニメを活かしたまちづくり」は、マンガ・アニメ情報館、マンガの家入館者数が目標に達しなかったこと、47番「児童虐待防止事業」は、保護者向けの啓発講座が開催できなかったこと、50番「特定保健指導や健康相談事業の促進」は、保健指導などの実施率が減少したこと、56番「高齢者を地域で支えるモデル事業」は、モデル事業の実施数が目標に達しなかったこと、57番「地域包括ケア推進モデルハウス事業」は、モデルハウスの拡充に至らなかったこと、83番「日和山浜海岸清掃」は、当日の雷注意報により事業を中止したこと、88番「緑化活動推進助成事業」は、花苗の支給数が目標に達しなかったこと、90番「みなとまち文化推進事業」は、定員に対する参加率が目標に達しなかったこと、98番「商店街内創業サポート事業」は、補助制度活用件数が目標に達しなかったこと、99番「中小企業開業資金」は、新規貸付件数が目標に達しなかったこと、104番「湊町新潟花街文化を活かしたまちづくり事業」は、ルールづくりに向けた地元との検討が進

展しなかったこと、107番「(仮称) 国際青少年センター及び(仮称) 芸術創造ファクトリー整備事業」は、基本設計、実施設計までは至らなかったこと、115番「SNSなどICTの活用事業」は、具体的な情報発信に至らなかったことなどの説明がありました。

(2) 立地適正化計画の策定について (資料 報2)

○事務局より、市街化区域において望まれる都市機能を緩やかに誘導するとともに、公共交通と連動した良好な居住誘導を図ることを目的とした5年間の計画策定について説明がありました。

- ・「拠点と賑わいのまち部会」が取り組んでいる事業について、参照してもらいたい旨提案がありました。
- ・基幹公共交通軸と重点地区との関係について質問があり、本計画は交通施策と連携しながら進めていく旨回答がありました。
- ・若者と高齢者が一緒に住めるまちづくりにしてもらいたい旨意見がありました。
- ・土地利用の線引きについて見識のある方、市民から意見を聞きながらしっかりと取り組んでもらいたい旨意見がありました。

(3) 部会からの報告について (資料 報3-1 3-2 3-3 3-4)

○「拠点と賑わいのまち部会」佐藤副座長、「人にやさしい暮らしのまち部会」田村(勝)座長、「水辺とみなとのまち部会」藤田座長、「中央区自治協議会だより編集部会」関谷副座長より部会等の開催概要及び検討内容について報告がありました。

4 その他

○長谷川委員より、中央区社会福祉協議会が取り組んでいるゴミ屋敷支援の情報交換を目的とした地域福祉ネットワーク会議の開催案内について説明がありました。

- ・ゴミ屋敷は地域の課題でもあると考えられるため、地域住民、コミ協、行政、社協が力を合わせれば解決できるので、会議に参加し、協力していただきたいと思います旨意見がありました。

5 閉会

傍聴者	3名
報道機関	1社